

きつつきの商売

オリエンテーション

◎「きつつきの商売」では、

「きつつき」の読み方を学びます。

読む力

をつける

- ◎この「きつつき」
- ①場面の
- ②文しよ

答え

というながれですすみませす。

自分にみについた力を
ほかの活動に

、音読する力。

そうする）力。

ける学しゅうをしていきます

ん心しましゅう。

の中に手がかりやヒントがあります。

書に書いてある文とにらめっこをしたり、

出して文しゅうを読んだり（音読したり）して、

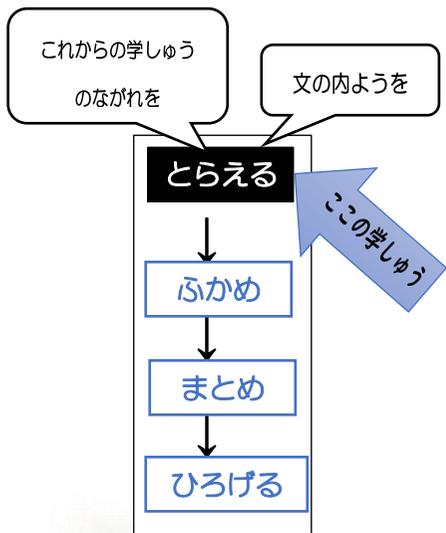
一つ一つ、学しゅうをすすめると、みるみる国語の力がみ

についていきます。

三年生の国語は
むずかしそうだ
な。わたし、国語
がにがてだわ。

「読む力」がちや
んとみにつくの
かな。心ばいだ
な。

では、学しゅうをはじめましょう。



◎学しゅうでつかう(用語)の(よつじ)の(か)くにん

*百五十九ページを見て【】に当てはまることばを書きましよう。

用語	いみ
登場人物	お話(物語)に出てくる人・もの
場面	物語にあるいくつかの【まとまり】。【時間】や場 しよ、登場人物の【行動】などでひとまとまりに なっていることが多い。

◎教科書十六ページから二十五ページを、三回音読しましよう。

回数	何をしながら読むか	読んだら○に色をぬろう。
一回目	登場人物に *だれかな? □に登場人物を書こう。 きつつき 野うさぎ 野ねずみの家族 *父さんねずみ *母さんねずみ *子ねずみたち (十びき) をつけながら音読する。	1
二回目	お話の中で「一番すきなところ」をさがしながら、音読する。 *「一番すきなところ」を「きくらんだら、そのことばや文のうらみを書きこもう。」	2
三回目	お話がつたわるように音読するために、「くふうして読んだ方がいいな」と思うことばや文に ——— をつけながら音読する。	3